

安全潜水標準実施要項了解声明書

(この了解声明書は、ダイビング団体作成のものを基準として、作られております)

注意して読んだ後に、ご署名してください。

この声明書は、スキン・ダイビング(マスクとスノーケルを利用したの素潜り/スノーケリングを含む)、スクーバ・ダイビング(圧縮空気を使って潜る)を安全に行うために必要なことを知って頂くためのものです。

これらを再確認し、了解して頂くためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適度や安全性を増やして頂くために作成されています。

安全なダイビングをするための習慣を理解されているという確認として、あなたの署名が必要です。

署名する前にこの声明書をよく読み、ご不明な点がある場合には担当のインストラクターや、またはスタッフにお尋ね下さい。

もしあなたが未成年の場合は、保護者(親権者)の署名が必要になります。

私 _____ (氏名を楷書で)は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを了解しています。

1. ダイビングするときは、心身共に健康を維持してください。アルコール類や危険性のある薬物を服用してダイビングしてはいけません。継続教育を通してダイビング・スキル(技術)を維持するようにし、久しぶりにダイビングをする時はコントロールされた環境で復習をするようにして、知識やスキル(技術)を忘れないようにして下さい。
2. あなたが潜るダイビング・ポイントをよく知ること。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーション(ダイビング場所の海洋状況や動生物等の説明)を受けて下さい。あなたが経験したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。あなたの受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動にのみ参加するようにして下さい。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケーブ(水中洞窟)あるいはテクニカル(特殊)・ダイビング活動に参加してはいけません。
3. よく手入れをされていて、使い慣れている器材を使用して下さい。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックして下さい。認定を受けていないダイバーに自分の器材を使用させてはいけません。スクーバ・ダイビングを行う時は必ずBCD(浮力調整具)と残圧計を使用して下さい。バックアップ空気源(オクトパスなど)や中圧インフレーター(パワー・インフレーター/タンクの圧縮空気を利用して、強制的に空気を入れて浮力を確保する物)を使用する方が望ましいということを知って下さい。
4. 監督する人のアドバイスに敬意を払ってください。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6か月以上ダイビングをしていない場合などは、追加のトレーニングが必要であることを認識して下さい。
5. ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守って下さい。水中での連絡方法や万一離れ離れになった時に再集合するための方法、緊急手順などのダイブ・プランをバディと一緒に計画して下さい。
6. RDP(リクリエーション・ダイブ・プラン)の使用法をきちんと理解して下さい。全てのダイビングを減圧不要限界内で行い、安全のために余裕を持ったダイビングを計画し、実施します。水中で深度や時間を測るために必要な計器を携帯して下さい。最大深度はあなたが受けたトレーニングや経験のレベルをよく考えて決定するようにし、1分間に18メートル(1秒間に30センチメートル)より遅い速度で浮上して下さい。S.A.F.E.ダイバー Slowly Ascend From Every Dive(全てのダイビングでゆっくりと浮上)。3分間あるいは用心してさらに長く、深度5メートルで安全停止をして下さい。
7. 正しい浮力を維持して下さい。ダイビング前にBCDに空気を入れない状態で水面で中性浮力になるようにウエイトを調整するようにします。水面移動をするときや水面で休息する時には、プラス浮力を確保して下さい。ウエイト・ベルトはいつでもすぐに外せるように装着し、ダイビング中にトラブルが起こった場合は、まずプラス浮力を確保することを忘れないようにして下さい。
8. ダイビング中は正しい呼吸を維持して下さい。圧縮空気を吸っている時には、絶対に息ごらえ(息を止めること)やスキップ呼吸(早くて浅い呼吸)をしてはいけません。
また、スキン・ダイビング(マスクとスノーケルを利用したの素潜り/スノーケリングを含む)などの息ごらえ(息を止めること)をするダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーション(速くて大きな深呼吸)を避けて下さい。水面、水中を問わず、水中にいる時は動きすぎて疲れてしまわないようにし、あなたの能力の限界内でダイビングして下さい。
9. 可能な限り、ボートやフロート(浮具)、その他の水面用ステーション(浮輪等)、または、ボートからのカレント・ライン(ダイバーが流されないよう、つかまるためのロープ)を使用して下さい。
10. 各ダイビング・ポイントに関する法律や規則やルールを守って下さい。

私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には、私自身を危険な状況に陥らせる可能性があることを認識しています。

私は、この安全潜水標準実施要項了解声明書を署名前に熟読し、内容を熟知しております。

参加者署名: _____ 西暦 年 月 日

未成年者の場合、保護者の署名(親権者あるいは後見人)が必要となります。

保護者署名: _____ 西暦 年 月 日